

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	Workshop RNC		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月20日	～	令和7年 8月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和7年 8月20日	～	令和7年 8月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 8月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所のプログラムが固定化されないように工夫されている。	共生型の施設ということもあり、多世代交流が盛んにおこなわれている。世代を超えてお互いが尊重しあえる場所となるよう努めている。	子どもも大人も楽しめる取り組みや、地域の一員としての役割を担う力を育てていけるよう、今後も様々な活動を通じて支援していきたい。
2	児童福祉、高齢者福祉の専門性を持ったスタッフがいることで多岐にわたる視点で支援プログラムを考えていくことができる。	個別支援計画に作成時に支援内容などで子ども支援の視点のみならず、高齢者との関わりやそれに伴う社会性の構築なども含めて作成するよう工夫している。	双方の知識や支援スキルなどを研修などで学びあい、より深い内容になるよう努めていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催をすることなどにより、保護者同士の連携を支援しているか。	子どもの人数が少ないこともあり、日々の様子についてはSNSを活用して保護者の方に伝えているが、集団としての成長や、全体の様子、課題などを伝える機会が少ない。	おたよりを発行することでWorkshop RNC全体の様子や行事、プログラム内容をより詳細にお伝えすることができ、活動に興味を持っていただき、その後の保護者同士の連携を図りたいと考えている。
2			
3			